

学校番号	学 校 名
25	大垣養老高等学校

令和4年度教育指導の重点及び学校経営計画

学校教育目標	「質実剛健・自主創造」の校訓のもと、生徒の将来の自己実現と幸せな人生を願い、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かで、自立と共生をもって地域に生きる有為な人材を育成する。		
スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー（GP）	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー（CP）	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー（AP）
	<ul style="list-style-type: none"> ・確かな基礎学力と専門的な知識技術や資格を取得し、課題解決力と創造力を身に付けた生徒 ・自ら考え、他者を尊重し、協働して目標達成に向けて行動できる、地域の担い手となる生徒 ・明るく元気で、挨拶ができ、社会のルールやマナーを守る態度を身に付けた生徒 	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題研究」や「総合的な探求の時間」を中心とした課題発見力・課題解決力の育成と地域に開かれた教育課程・地域連携学習の推進 ・一人一人の生徒が自己肯定感をもって活躍できる、より多くの学びの機会を設定 ・生徒一人一人の多様なニーズを把握し、総合学科と農業科の特性を生かした個に応じたきめ細かな指導の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・好奇心・向上心 専門科目を学ぶことに興味あり、自分の良さと夢を見つけ努力できる生徒 ・協働する心 他者を尊重し、他者とともに学ぼうとする率直な姿勢を持った生徒 ・社会への関心 地域の活動や部活動に積極的に参加しようとする意欲を持った生徒
教育指導の重点 (今年度の具体的な重点目標)	重点目標の達成に必要な具体的取組、方策		達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
1 授業改善に努め、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図り、自ら学ぶ意欲や態度を育て、主体的に学習に取り組む生徒を育てる。	<ol style="list-style-type: none"> ① 個に応じた指導に努めるとともに自主学習ノートを導入し、家庭学習時間の確保と基礎学力の向上を目指します。 ② 積極的な公開授業や授業アンケート、ICTを活用した教材開発や授業のあり方を研究するとともに指導力の向上と授業改善に努め、「分かる授業」を実践します。 ③ 総合的な探究の時間、課題研究等における知的財産教育、地域と連携した商品開発等を通して、産業人として必要な創造力、実践力、活用力の育成に努めます。 ④ 主体的な学び、対話的な学び、深い学びの実践に向け、日々授業改善に努めます。 		<ol style="list-style-type: none"> ① 定期的なノートの点検と、基礎学力テストの結果推移により判断します。 ② 生徒による授業アンケートを実施し「分かる授業」の達成度90%以上を目標とします。 ③④ 主体的な学びの成果を目標に照らし観点別に評価します。
2 キャリア教育を推進して、生徒に自己肯定感・自己有用感を育み、主体的かつ計画的な進路選択	<ol style="list-style-type: none"> ① 社会的、職業的自立に向け、基礎学力の向上とコミュニケーション能力の向上に取り組みます。 ② 低学年から進路意識を高めるためにキャリアパスポートの作成を通じて、学びの履歴を積み重ねながらキャリア形成に努めます。 		<ol style="list-style-type: none"> ① 全校共通の基礎学力テスト結果の推移により、学力の定着度を判断します。 ② キャリアパスポートの点検により判断します。

<p>を促し、社会的職業的自立を支援する。</p>	<p>③ キャリア教育を意識し、各学科、各系列で目標を定め、生徒とともにより高い進路目標が持てる様に資格取得率の向上を目指します。</p>	<p>③ 各種資格の取得率を各学科、各系列で定めた目標に照らし評価します。</p>
<p>3 他者を尊重し、生命を大切にすることを実践し、規範意識や品位を備えた心豊かな生徒を育てる。</p>	<p>① 豊かな心、生命を大切にすることを育むため、「生きた教材」の活用に努めるとともに、人権、情報モラル、性教育、交通安全に関する講話（LHR）を実施します。 ② 社会性を身に付け、TPOに応じた行動がとれる生徒を育成するため、挨拶や言葉遣い入退室のマナー指導を充実します。 ③ 各教科・科目の目標に人権教育の目標を位置づけ、人権感覚を意識した授業に取り組みます。</p>	<p>①③ 生活アンケートや教育相談、生徒による授業評価をもとに、学校生活の充実・満足度を評価します。 ② 学校運営協議会委員、PTA、地域からの学校評価を指標とします。</p>
<p>4 地域連携、地域貢献、地域共生を推進し地域と共に歩む学校を目指す。</p>	<p>① 外部講師などによる専門的な指導を継続的に行い、産業社会や地域の発展に積極的に貢献できる人材を育成します。 ② 地域農業者との連携及び地域技術交流体制の構築により、地域産業の担い手育成をめざし、地域に根ざした教育を推進します。</p>	<p>①② 生活アンケート、連携先からの評価を指標とします。 ①② 学校運営協議会委員、PTA、地域からの学校評価を指標とします。</p>
<p>5 部活動、生徒会活動、農業クラブ活動、家庭クラブ活動、商業クラブ活動、Sクラブ活動で生徒が主体となる活動を創出し、活力ある学校づくりに努める。</p>	<p>① 球技大会、体育祭、大養祭など生徒が主体となり企画・運営する学校・生徒会行事を充実します。 ② 生徒会、農業クラブ、家庭クラブ、商業クラブ、Sクラブ、MSリーダーズ活動など、生徒が主体となり地域と連携し、地域に貢献できる活動に取り組みます。 ③ 部活動を精選し、職員が生徒と向き合う時間を確保するとともに、活動時間の適正化を図り、部活動の活性化に努めます。</p>	<p>① 生徒や保護者によるアンケート等でその達成度を把握します。 ② 地域の声や生徒の活動報告書等により、評価します。 ③ 部活動実施報告書による活動日数、時間及び大会結果を指標とします。</p>